

第2回湯河原町地域公共交通「意見交換会議」議事要旨（2日目）

日時：平成30年1月24日（水）

18：30～20：10

場所：湯河原観光会館 2階中会議室

参加者数：39名

- ・ 駅まで運行した場合、路線バスと重複するということですが、路線バスとオレンジラインを循環する方式にしたらどうでしょうか。
→移動時間等で長くなることもあり、デマンド型交通を選択しています。
- ・ デマンド型交通は予約方式のため、面倒だと思います。
→直行便で移動可能、既存タクシー車両の活用という利点からデマンド型交通を選択しています。
- ・ 帰りの駅から居住地エリアへはどのような利用になりますか。
→目的地エリアから利用可能です。帰りも事前予約が必要です。
- ・ オレンジラインエリアは行きが下りで良いですが、帰りが上りで大変です。
→駅だけでなく、湯河原駅周辺に複数の乗降ポイントを設ける予定です。
- ・ 予約方法については、どのようになりますか。
→運行事業者のオペレーターへ直接電話をして頂くことになります。
- ・ 高齢者の対象年齢は何歳ですか。付添者も同乗可能でしょうか。
→年齢制限は設けていません。添乗者も運賃を支払い同乗可能です。
- ・ タクシーは休日で利用が多く、平日が少ないため、平日の遊休車両を活用可能なデマンド交通を選択したということですが、町は住民、交通事業者どちらの方向を見て考えていますか。住民の足を確保するため、住民の方に目を向けて欲しい。
→交通不便地域の住民の不便対策のため導入するものです。
持続可能な形で行うため、地域、交通事業者、行政の3者で協力しながら取り組むことが重要と考えています。
- ・ 実施方針として一定便数となっていますが、予約制ならもう少し便数を増やして欲しい。
→実証運行という段階のため、まずはこの内容で実証を行い、検証していきたいと考えています。

- ・テストのやり方によって、予約という不便さがある中で、どの方法が1番利用率が高いのか分からないのではないかと。

→狭い道、急坂の対応を考えた場合、バス車両での対応は難しく、デマンド交通が最適と考えています。
- ・デマンド交通の利用が多い場合、台数から対応できないこともあり得ますか。

→4台運行を考えており、最大16名まで利用可能ですが、それ以上の場合は予約を断ることになります。
- ・年齢制限は設けないということですが、利用者は多く、さばけないのではないかと。他自治体ではデマンド型交通を導入し、失敗して撤退しているようですが、温泉場とオレンジラインを循環する方式はシンプルで良いと思う。利用者は目的地まで直行性、スピーディさは求めていると思います。オレンジラインはコミュニティバス、温泉場はデマンド交通と、運行エリアにより、運行方法を変更するという方法もあり得るのではないかと。

→利用状況などを踏まえ、今後の検討課題とさせて頂きたい。
- ・コミュニティバスについては、あり得ないのか。

→道路形状など地域特性を考えると、難しいと考えています。
- ・アンケートの提出については、当日に資料を理解できないため、後日にして頂きたい。
- ・オレンジライン沿線のコミュニティバスは以前実証運行し、廃止したという回答がありましたが、そのような経緯は無いと聞いています。バス会社に確認したところ、過去に町からオレンジライン沿線の路線の参考見積があり、それきりと聞いている。
- ・新たな公共交通は、高齢者の通院、買物のために感じますが、子供の通学にも使えるように1時間に1便程度運行して頂きたい。デマンド交通でなく、路線バスの方が若い世代の定住促進、地域の活性化にもなるのではないかと。

→1ページの路線バスを利用する場合の利用場面として、買物、通院目的が多かった。新たな公共交通の利用目的は通院、買物としています。
- ・町のビジョンとして、どのような方向を考えているのか、その時に新しい公共交通がどうあるべきなのか。若い世代が転入しないと、町は発展しないと思います。全体の中で、どのような位置づけになるのか。

→公共交通対策については、戦略プランの一環として、町は取り組んでいます。

- ・デマンド交通だけで全て解決できないため、まずは試験的に行って頂き、オレンジラインについては、既存のバス事業者のルート変更などで対応できるよう検討して頂きたい。
- ・実施時期はいつですか。
→平成30年10月頃を予定しています。
- ・デマンド交通に決まったということですか。路線バスでオレンジラインを通すことはありませんか。
→町としてはデマンド交通が最適と考えています。
- ・住民が望んでいる形がどうかは大切ではないでしょうか。町の方で一方的に検討しているようで、住民の意見を集約したことはありますか。住民が何を望んでいるか。
- ・今回、どの位の方が利用するという予測はしていますか。需要の掘り起こしはどのように考えていますか。実証運行中はなるべく皆様の意見が把握できるような進め方をして頂きたい。
→運行経費の試算にあたり、町の中である見込みを立てているが、実際の需要が、つかめない部分もあるので、実証運行により把握したいと考えています。
実証運行中にはアンケートを行い、利用者数だけでなく、移動の目的等を把握する予定です。
- ・事前登録しないと、利用できないのか。なぜ事前登録しないといけないのか。
→事前登録した方のみ利用可能。予約を受けるオペレーター方が利用者特定するため事前登録を必要としています。
- ・オレンジライン上をバスで試験的に運行することはできないのか。
→地域の方の要望を把握しており、バスの運行も検討しました。交通不便地域全体の方が利用できる制度で考えており、オレンジライン上の路線では、距離の遠い方が、バス停まで坂を登り降りして利用するのは難しいと判断しました。
- ・デマンド交通を選択するまで、色々と検討して頂き、感謝しており、早く実験をして頂きたい。
→オレンジライン上だけでは不便のため、町の地形を考慮し、デマンド交通を選択していますが、まずは実証運行を行い、利用状況等の様子を見たいと考えています。

- ライドシェア、相乗りタクシーについて、東京都内等で実験を行っていますが、検討したことはありますか。
→今後研究していきたいと思います。
- 広い地域を網羅できる点で、デマンド交通が良いと思います。城堀エリアなども見捨てることなく検討して頂きたい。
→実証運行を行い、その結果を見て新たに検討していきたいと思います。